

対応状況報告書

大 学 名：九州大学
 評価実施年度：令和3年度
 報 告 年 度：令和4年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	<p>○ 薬学府（博士後期課程）及びシステム生命科学府（一貫制博士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。</p> <p>○ 地球社会統合科学府（博士後期課程）、法学府（博士後期課程）、経済学府（博士後期課程）、理学府（博士後期課程）、数理学府（博士後期課程）及び統合新領域学府（修士課程及び博士後期課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。</p>
対応状況	<p>統合新領域学府（修士課程）は、0.79倍（平成29年度～令和3年度）と基準を満たしていた。</p> <p>それ以外の課程については、現時点で改善された状況にあると判断していない。</p> <p>統合新領域学府修士課程では、平成29年度～令和3年度の5年間の入学定員に対する実入学者数の比率の平均が自己評価書提出時には0.65倍としていたが、データを再確認したところ0.79倍となり、基準5-3を満たしていた。</p> <p>なお、同様に入学定員充足率の状況について確認していたところ、「認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2」の数値に誤りがあることが判明した。</p> <p>今回の数値の誤りについては、評価担当部署において志願者・合格者・入学者数等を所定様式に入力する際に、誤って入力したことが原因である。今後は厳重にチェックを行う観点から、評価担当部署が作成したものを学務担当部署及び各部局においても数値に間違いがないか、二重、三重のチェックを行うことで内部牽制体制を徹底し、再発防止に努める。</p> <p>【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。